

連携提案: 歴史に根差した内容、あるいはそれを踏まえて未来を構想することを学校教育の中でできるような歌・合唱曲の新作の創作

キーワード: 地域の記憶と展望 音楽 歌・合唱 詩 創作 演奏

芸術・体育教育学系 教授

阿部 亮太郎 Abe Ryoutaro

連携提案内容と効果

音楽活動には、力があります。時には生きる力を生み出し、時には打ちひしがれた人を支え、社会や歴史の中の忘れてはいけないことを日常の営みの中で思い起こす契機にもなります。特に日常の中で忘れてはいけないような地域の歴史、あるいはまた社会の現状を踏まえた未来への展望を、単なる理屈の整合だけでなく、それらが生きている状況の情動を含んだ形で思い起こしながら学んでいくような場としての音楽を目指したいと思っております。詩は、詩人の協力も得ながら、地域・市民・子どもたちの記憶や展望に沿った歌詩を目指し、作曲は、私が演奏者の水準に沿った形で行います。先ほど良い面を強調しましたが、音楽や、音楽を含むイベントは、陶酔や熱狂のうちに、忘れてはいけないことを忘れさせたり、人々を戦争に駆り立てたりする面もあります。部活動でも、過度な同調圧力や競争の温床になったりもします。仮に簡潔で易しい音楽を目指すとしても、この観点は丁寧に参りたいと考えております。

アピールポイント

忘れてはいけない地域の歴史、社会の現状を踏まえた展望に含まれる様々な情動の想起／その過程にある様々な学びと気づき／構想段階からの協働／学校での活動(音楽的、社会的、あるいは言語表現的な教育面での)／研究会ないしは、構想の発表会／完成された作品の発表・演奏会

連携したい分野

詩人、あるいは童話作家社会や歴史を踏まえた表現活動に関心のある研究者  
社会や歴史を踏まえた表現活動に関心のある学校  
社会や歴史を踏まえた表現活動に関心のある自治体  
社会や歴史を踏まえた表現活動に関心のある企業

研究テーマ: 地域に於ける地域の歴史と展望の表意・表現に関わる創作



<p>プロフィール</p> <p>1962(昭和37)年生まれ。1989(平成元)年から上越教育大に勤務 日本作曲家協議会／作曲家の会アプサラス、及び越の風会員／日本音楽表現学会会員</p>	専門分野	作曲
	主な研究内容	音楽作品の作曲(管弦楽・室内楽・合唱・吹奏楽などのための作品。市民創作音楽劇や校歌など)日本人作曲家の作曲家論・作品論や音楽批評論、臨床的な学校教育の論文もある。
関連URL		

関連する業績等

《漆黒の網目》(オーケストラ)  
《宙吊りの崖》(弦楽合奏)  
上越文化会館創立40周年記念市民創作音楽劇《くびき野の歌》  
新潟県内の校歌5曲  
等

お問い合わせは、阿部研究室 aberyo@juen.ac.jp